

# 平成30年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	94	学校名	茨城県立坂東総合高等学校						課程	全日制			学校長名	大木直人			
教頭名	早瀬 永									事務(室)長名	小澤 弘						
教職員数	教諭	24	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	5	事務職員	3	技術職員等	7	計	53	
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	総合学科		43	41	36	31	43	45			122	117	8				

## 2 目指す学校像

<p>(1) 総合学科の学びを活かし、生徒が夢を持って、自らの進路実現に向けて充実した高校生活を送れる学校</p> <p>(2) 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の確立が図れ、社会的・職業的自立に必要な能力や態度が育める学校</p> <p>(3) 恵まれた教育資源を活かした地域連携・地域貢献活動を推進し、生徒の自尊感情や前向きな姿勢が培える学校</p> <p>(4) 環境教育や環境学習の機会を充実し、環境に対する豊かな感受性と熱意、見識を持つ「人づくり」に取り組む学校</p>
--

## 3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
教科指導	生徒間の学力差が比較的大きく、学習意欲にやや差が見られる。個々の理解に応じたきめ細やかな指導により、意欲的に学習に取り組む生徒が増えてきた。	TT授業や習熟度別学習を充実させる。 研究授業などの内部研修を充実し、わかる授業の工夫を図る。 選択科目の内容を充実させ、生徒の興味関心を引き出す。
生徒指導	全職員による徹底したきめ細やかな指導により服装・頭髪等の乱れは少なくなった。交通事故も減少した。心の悩みを抱える生徒がやや増えている。	公衆道徳やマナー教育、交通安全教育を充実させる。 非行防止教育を徹底する。 スクールカウンセラーの十分な活用を図る。
進路指導	明確な目標を持って努力する生徒と就業意識の低い生徒がいる。自分の身につけた知識・技能を将来に活そうと	恵まれた雇用状況の中であるが、就職先の確保と内定率の向上に努める。家庭との緊密な連携を図り、生徒の将来設計に基づく、

別紙様式 1 (高)

	する意識がやや低い。	進路実現を達成する。
特別活動	部活動の参加生徒が少ないため、団体種目の各種大会への出場が少ない。リーダー的存在の生徒が育っていない。	部活動の指導体制を充実させ活性化を図る。生徒会並びにホームルーム活動を通して、リーダー教育の強化を図る。

4 中期的目標

総合学科 9 年の実績を検証し、多様な個性や進路希望を持つ生徒一人ひとりの自己実現のために、本校の特色ある教育システムをより良いかたちに再構築する。さらに、学校評価における関係者評価やアンケート等の結果を分析し、生徒及び保護者、地域住民のニーズを的確に捉え、それぞれの満足度を高めることにより地域の人々に必要とされる愛される学校づくりを行う。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学力の向上	① 授業時間数と授業時間を確保する ② わかる授業を展開する ③ 授業方法に関する研究を推進し、学習に取り組む意識を高める工夫をする
基本的な生活習慣の確立	④ 遅刻・服装頭髪指導の定着を図る ⑤ 挨拶の励行、規則の遵守やマナーの向上を推進する
教育相談の充実	⑥ 心の健康を大切にし、生徒の心の悩みを解決するために教育相談を充実させる
特別活動の活性化	⑦ 部活動に意欲的に取り組み、継続した活動を行う ⑧ ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の活性化を図る
進路指導の充実	⑨ 個別面談を充実させ、進路意識を高め生徒の進路希望の実現を図る ⑩ 総合学科の学習やインターンシップの実施により、進路意識の高揚を図る
地域との連携・交流の推進	⑪ 農業施設・設備を生かして、開放講座などの実施により、地域からの信頼を確保する